

## 会議開催概要

会議名	第 18 回菊川市総合計画庁内策定委員会
日 時	平成 28 年 6 月 20 日（月） 13：30～15：30
場 所	菊川市役所 2 階 201.202 会議室
出席者	委員長、他委員 9 名 事務局 4 名
議 事	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 第 2 次菊川市総合計画実行計画（案）について (2) 「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進捗状況について（報告） 4 その他 5 閉会
議事要旨	<p><b>1 開 会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会宣言</li> <li>・互礼</li> <li>・出席者数確認</li> <li>・資料確認</li> </ul> <p>【資料 1】第 2 次菊川市総合計画実行計画（案）</p> <p>【資料 2】菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況について（報告）</p> <p><b>2 委員長あいさつ</b></p> <p>本委員会も 18 回目となり、本日は、総合計画実行計画について、また、まち・ひと・しごと総合戦略の内容について報告があります。総合計画本体は現在パブリックコメント中となっています。今回も活発なご意見をお願いします。</p> <p><b>3 議 事</b></p> <p><b>(1) 第 2 次菊川市総合計画実行計画（案）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より資料説明</li> </ul> <p>委員長                    事務局からの提案について、ご意見をお願いします。</p> <p>委員                        重点プロジェクト 3 の文章について、はじめの 4 行ぐらいで文化遺産のことが大きく書かれていますが、実際の内容をみると、今言った文化関係の割合が少なくなっています。10 頁の書き方で担当のイメージが固まってしまうので、全体的に決めてもらえればよいと思います。個別事業を想定して、もう少し事業を網羅的に言うような書き出しにすべきではないかと思います。</p> <p>事務局                    文言については、事務局の方で訂正して事業内容に合うような言葉に変えさせていただきたいと思います。</p>

委員長 重点プロジェクト3については、5行目までのところの表現を変えていくことになりませんか。

委員 13頁を見ると、例えば幹線道路の整備などハード事業がいくつか載ると思いますが、今は載っていません。10頁を見ると4行目の最後の方、「本市に暮らしつづけていくためには安全で快適なまち」のところでしか載りません。前の方を減らすより、この部分をもう少し広げてもらおうと、載せやすいです。

委員 重点プロジェクト1の未来を担う人が集うまちの実現とありますが、あえて、「未来を担う人」というのはどういったことをイメージしているのですか。

事務局 重点プロジェクト1については総合戦略の内容を意識しています。ターゲットとしては若年世代のUターン、子育て世代に重きを置いた戦略となっているので、このような名称にしました。

委員 実際11頁をみると幅広く載せていると思います。

事務局 11頁に載っているのは総合戦略で具体的に載っている事業を、部会で出た事業名に直したものになります。戦略に載っているものは載っているという状況になります。総合戦略に載っているから全部重点かという点については、今後の部会の議論で絞れてくるのかと考えています。

委員長 未来を担う人が集うまちの実現、基本目標1のところでは介護予防の推進がここに入っているのは理由がありますか。

事務局 総合戦略の中のロコモ予防のプラス10事業を意識して入れています。重点プロジェクト2の内容が健康寿命の延伸ということですので、1から外すこともありえるかと思います。今は総合戦略に記載されているものはプロジェクト1に全て掲載している状態です。

委員長 重点プロジェクト1の内容にあう基本目標2に入っている内容は、他にはありませんか。

委員 重点プロジェクトの文章が先か、重点事業を揃えるのが先か、というのがあります。重点をいくつ掲載するかもあり、ある程度3つから5つくらいに絞ってから文章を考えるのがいいのではないですか。そうしないと、先に文章を考えても、また文章を直す必要があると思います。

事務局 今日のところは事務局として想定の中でプロジェクトを挙げました。これから部会の中で何を重点にしていくのかを検討していただき、それに応じて文章を調整していきたいと思えます。ただ項目立てとして、重点プロジェクト1は人口減少対策、重点プロジェクト2は健康寿命の延伸、重点プロジェクト3は文化やインフラを括っています。言葉はあげてもらった重点をみて再検討します。

委員長 事前に見たときに、あまりたくさん入れてしまうと総花的になってしまうとい話をして、基本目標は全て入れなくてもいいとも思えます。重点プロジェクトは3つの柱にまとめて、内容はもっと絞るといことでしょうか。その後、説明文を吟味するといことでしょうか。

委員 重点プロジェクトの表題が抽象的な表現となっています。定住政策や健康づくりといった狙いがあるので、抽象的な表現ではなく決定された表現にしてもらった方が事業をあげやすいと思えます。

委員 プロジェクトの事業の中に、括弧で分野が書いてありますが、重点事業ごとに分けられている状態に見えます。例えば、重点プロジェクト3基本目標2のところ、医療は何もなく、他の人から見ると何もないような見方をされる可能性があります。括弧は取り外すか、あるいは、福祉の内容はプロジェクト2にほとんどあるので、そこに載せるのか、他の対策を考えてほしいです。

事務局 11頁以降に載せるといことですか。

委員 触れてないところも出てきますので、何もないと思われないような表現にした方がいいと思えます。

委員 基本目標は政策レベルで、このプロジェクトの文章はそれと同じレベルとなっています。プロジェクトの文章は施策レベルにした方が事業を拾いやすいのではと思えます。しかし、本当はこの部分は市長のマニフェストに関連する事業を載せたいのですが、来年、市長選があるので、新市長のマニフェストがあれば絞り込めるのですが、来年1年間としては、多少ぼやけているのはやむを得ないのかと思っています。具体化されれば良いとは思えます。

委員長 確かに、マニフェストができれば、もっと絞れると思えます。

委員 総合戦略との関係からプロジェクトを起こしていますが、プロジェクトは重点的な進め方をするといことですか。心豊かで快適なまちの実現を目指すといことですか。1と2はなんとなく分かるが、3が進めていくイメージが湧きません。

事務局 2つのプロジェクトでは、すべてが網羅できないので、例えばインフラなど取り込めるように3つにしました。抽象的で何を目標している重点が明確でないという指摘もありますが、実際に公約がでてきて、重点が特化したものにできればいいのですが、今は明確に出来ないで、事務局としては、3つにしています。選挙がどうなるかわからないので、このようにしています。事務局としては、戦略を進めること、生涯健康なまち、の2つは絶対はずせないだろうという考えです。これからの高齢化社会のなかでは、これははずせないということで2つあげ、それ以外を拾える形で3つ目をいれました。

委員長 3つの重点取り組みのなかで、個別に実行計画はまだ掲載してないですね。

事務局 この資料については枠組みがわかるものということなので、具体的な事業については載っていません。

委員長 この形で表すと、医療などが無くなってしまわないですか。

委員 重点プロジェクトで表している基本目標の5つに該当しない箇所は何も無しというのではなく、ある程度、プロジェクト毎に最低3つくらいはあった方がよいと思います。

事務局 考え方がいろいろとあると思います。重点なので絞り込んで全ての基本目標に引っかけなくても重点なので特出しするというやり方もあります。全市をあげて取り組むということで、すべての目標について、いくつかの事業を当てはめていくという考え方もあります。その辺はここで議論して決めていければと思います。他市町では、例えば、1のプロジェクトの中に何もないというところもあります、見せ方として、削られているように見えない工夫はします。

委員長 基本目標1～5の枠組みで表すなら各項目に3つくらいはないと抜けているように見えます。枠組みがないならば、いくつかを抜粋するか、どちらかだと思えます。あまり、沢山入れすぎてしまうと、基本目標なのかわからなくなると思えます。

委員 この後、部会で各課から重点プロジェクトに沿った重点事業を考えていくときに、課長の考え方で2通り出てきます。市全体のプロジェクトとして、3年間で力をいれるものだけを出せとなるとうまく出てくるか心配です。すべて出して整理してもいいと思います。

委員 プロジェクト1が総合戦略に特化すると、拾える事業が限られます。そこはプラスアルファ広げた方がいいのではないですか。

事務局 名称をはっきりさせた方がいいとの議論がありました。例えば、総合戦略の推進とすれば、プロジェクト1になります。絞るのであれば総合計画では福祉は2に入れるなどです。総合戦略は31年まで計画期間なので確実にまとめた方がいいという気持ちはあります。総合戦略にも掲載されており、介護にも載せた方がいいということも考えられます。また、選挙による公約で違うものが出てくるかもしれませんが、現段階で市長に確認をとりますが、修正が年明けにはあり得ると思います。その辺をどこで詰めていくべきか悩んでいます。

委員長 総合戦略を確実にやっていくというような言葉に変えてしまえば、1つは誰が市長になっても、そこは5年間やるということになります。更にやるということであれば、プラスしていくしかないのではないのでしょうか。言葉を今の案のようにしてしまうと、まるっきり変わることも考えられます。

事務局 この段階で事業を位置づけるのは早すぎるという思いもあります。来年度の1年間がマニフェストを含めた調整期間、その後、4年間が重点プロジェクトの実施期間になります。来年からの3、4の事業をつくるやりかたと、1年だけつくってやるやり方と色々あると思います。しかし、1年だけやることに意味があるのかどうか。

委員長 調整期間の1年間は、実行計画のなかに重点をつくらないことになります。

委員 今までの実施計画と同じことだと思います。

委員長 プロジェクト1を総合戦略の確実な実行とすると、プロジェクト2と上手くあいますか。

委員 地方創生の内容が重点ということですよ。それだけですか。

事務局 藤枝市と同じスタイルにするならそうなります。しかし前回の策定委員会で、総合戦略だけが重点ではないだろうとの議論でしたので、あとの2つを提案しました。

委員長 総合戦略では、高齢社会に向けての施策は何がありますか。

事務局 基本的には高齢化対策は盛り込まないという方向性です。ただし、プラス10ロコモ事業は高齢化対策というよりは健康寿命を延伸していくために、年齢に係わらず必要である、ということではあります。

委員長 高齢化対策を何が何でも入れない、というのもどうかと思います。この辺のまとめかたについてご意見ありますか。

委員 今日の資料から、必要な事業を選び、さらに各課で重点を加えてもらう進め方がいいと思います。そうしないと、全くなかったり、数が少ない形になります。藤枝市に近い形になるかと思う。総合戦略の内容だけが総合計画の重点事業というは違うと思います。10年間のうちの3年間となるので、総合戦略と意味が違うので、その方がいいと思います。

委員長 今のまとめ方は、藤枝市に近いのですか。

事務局 藤枝市の横断的に重点プロジェクトとして、各分野にまたがって枠をつくり、今まで展開してきたものを横断させた形です。藤枝市をみると、基本構想の部分で基本目標が7つあって、それに従って戦略も7つ作っています。分野は同じで戦略的にする事業を細かくしている。総合計画も7つの柱をそのまま総合戦略に持ってきているという形です。戦略の作り方は違いますが、プロジェクトの考え方は同じ様になっています。

委員長 富士宮市はどのようなものですか。

事務局 実行計画をつくるために、初めて3つのプロジェクトを出したが、他のところは三層構想でやっている。富士宮市については基本構想部分で固めています。重点取組として枠組みを3つに分けて、それを達成するために基本目標を定めていくという形です。重点的に取り組む事業を先に決めて施策を展開していくかという違いです。

委員長 富士宮市は色分けで3つの取組が基本目標と対応しているのか。

事務局 カラーで確認すると、同じ色でやっているわけではありません。

委員 重点プロジェクトを総合計画の政策施策に重点を重ねたことによって、分かりにくくなっていると思います。なおかつ事業を拾ったのも例示の状態なので、これからさらに各課が事業を拾うことになるとうち文章がずれると思います。重点を言葉として何か目標を立てて事業を選ぶなら、もっと簡素に、例えば人口を増やす、など3年間の重点目標のようにして、各課が事業を拾うようにすると分かりやすいのではないですか。政策施策事業の並びで事業が入るのはちょっとわかりにくいです。重点の位置づけもわかりにくいです。重点目標としたほうがいいと思います。

委員 それはそれでいいと思うが、それをしても、重点事業としてどこまでを捨るか、方向性として、どこに持っていくかということも重要になってくると思います。

事務局 これから部会で重点の中で議論するとき、部会長が仕切るのですが、重点事業の方向性は示さないとやりにくいと感じています。今日の文章は再検討しますが、1つ目は戦略、2つ目は健康寿命の延伸、3つ目は安全に暮らせるまちという形にして、ポイントとしてはそのような考え方として、もう一度、事業を選んで言葉を選ぶということでいかがでしょうか。そのような進め方でよければ、部会の作業をして予算要求に間に合わせたいと考えています。

委員 重点の決め方はどうするのですか。

事務局 ここ3、4年は重点的にやるのはこれですよ、ということです。

委員 基本それでいいと思いますが、担当課の考え方も尊重し、「など」として、各課からあげたいものはあげてもらって、これ以外もよしとしてもらえると、議論も進むし、各課の思いもでてきます。あと、今の説明だと、総合戦略の内容をどうするか書いていませんが、その辺は企画からの考えを示してもらえるとありがたいです。

事務局 総合戦略は短期集中でやる考えですので、総合戦略はプロジェクト1としてまとめる方向性でいきたいです。重点に馴染まない事業は無理に載せない方向でいいと思っています。「など」の扱いは、もちろんそのように出してもらったものを議論いただき、最終的に整理できればいいと思います。ただ、あまり方向性がぶれると重点事業を選ぶのに悩んでしまうので、概ねこのような方向性で、ということで部会を進めてもらえればと思います。

委員長 タイトルについては、事務局で検討して連絡してもらえるのですか。

事務局 部会で使う資料としては、前回資料の目標別取組で全ての資料を拾っています。その資料の右の欄に重点かどうかの欄があるので、これを使って、人口は1番、2番を生涯健康、3番を安全、4番をそれ以外、としてもらって議論してもらえるといいと思います。人口問題などとなると、「など」とは何の意味だ、との議論となるので、その他として、それを取り上げるかどうかを議論してもらいたいです。

委員長 重点かどうかを丸つけ、番号をいれてもらうことでいいですか。

委員	すべての事業に数字をいれるのですか。あるいは、重点の数は抑制するのですか。その辺の指示はどうするのか。
事務局	数の抑制ですか。
委員	明らかに重点とはいえないというものはどうするのですか。
委員長	全部に数字をいれるとすべて重点になってしまいます。
事務局	重点として印をつけないものもあります。
委員	事業を重点にするかどうかは、行う目的があるからで、それがイメージできているのですか。その他で拾ってしまうと、何を根拠に重点とするのですか。
事務局	人口問題は総合戦略、それに加えて健康、安全なまちをあげています。それだけに特化してしまうと他の事業があげにくい、という意見もあり、しかし、「など」となると抽象的になってしまうので、重点を3つでいいのであれば、それで洗い出しをしてもらえればと思います。
委員	それは各課の思いではないのですか。
委員長	重点事業なので、この中で議論をすればいいと思います。
事務局	部会の考えもあるので、人口問題と、生涯健康、安全なまちの視点で、重点を拾い、重点にならない基本事業は印をつけないということで、部会での検討をお願いします。
委員長	部会で整理してもらって、決めてもらえばいいのではないのでしょうか。
事務局	部会長が部会を進めていくなかで、細かくではなく、重点の視点を大きく書いたほうがいいでしょうか。
事務局	部会資料については、成果が見えないと不安だと思いますので、体裁はこれで、文章は検討中として、視点は3つであることで示します。
委員長	今ので、意見も出たと思うので、重点の作業については、事務局で考えてもらい、概ね3つで決めてもらって、それで、視点にもとづき、重点事業を選んでもらうことをお願いします。まとめ次第、開催します。



(2)「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」進捗状況について(報告)

事務局 資料説明。

事務局 本日内容の確認、修正を願う、結果については7月19日審議会に提示予定

**4 閉 会**

以上